

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)富田林複合店舗B棟新築工	階数	地上1F
建設地	大阪府富田林市大字彼方998-1の	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	50 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2018年6月26日
敷地面積	11,317 m ²	作成者	(株)環アソシエイツ
建築面積	3,569 m ²	確認日	2018年6月26日
延床面積	3,554 m ²	確認者	(株)環アソシエイツ

本図を右クリックし、「図の変更」を
選択していただきたくて、外観写真を
貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.7 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 97% ③上記+②以外の 97% ④上記+ 97%</p> <p>0 46 92 138 184 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.7</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>省エネ対策などを施すことで地球環境負荷の低減を目指し、周辺環境にも配慮した。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>外壁熱損失の低減を図るため、外壁断熱性能を考慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高、天井高にゆとりを持たせて快適性を確保し、バリアフリーとした。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>地域の町並み、景観への配慮を考慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>エネルギー損失の削減を考慮し、高効率機器を採用した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>地球環境、人体への健康配慮した建築材料の選択を行った。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>周辺の渋滞緩和のために適切な駐車スペース数を確保した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0046

Osakafu-新築-既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)富田林複合店舗B棟新築工事						
	建設地	大阪府富田林市大字彼方998-1の一部外						
	用途/区分	物販店						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						2	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

報告しない

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.1	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.8	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.2	2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		